

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議
公益財団法人日本対がん協会
NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会
女子大生リボンムーブメント
NPO 法人子宮頸がん啓発協会 Think Pearl
(子宮頸がん体験者) 阿南里恵

報道各位

子宮頸がんの啓発に向けて活動する私たちは、子宮頸がんによって日本女性の命と幸せが奪われないように、あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践することをめざして、以下の共同メッセージを発表いたします。

2012年4月9日

共同メッセージ： あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践につなげることをめざして

- 子宮頸がんの原因のほとんどは HPV（ヒトパピローマウイルス）です。
- 子宮頸がんは、女性なら誰にでも起こりうる病気です。正しい知識をもってください。
- 子宮頸がんは、検診によってがんになる前の段階で発見できます。
大人になったら、検診を受けましょう。
- 細胞診と HPV 検査を用いる、より精度が高く費用対効果にすぐれた検診制度の確立を提言します。
- HPV ワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのワクチン接種を推進してください。
- 子宮頸がんの適切な治療情報を普及し、全ての患者さんが適切な治療を受けられるように支援してください。

●検診無料クーポンにより、該当する年齢では受診率が2-4倍以上増加し効果的でしたが、利用率はまだ低く、もっと周知を図り活用されることが望まれます。

●HPVワクチンは、中学1年～高校1年を対象に公費助成が実施され、75%の接種率を実現しましたが、必要とするすべての女性・女兒に、広く公平に接種機会が提供されることが望まれます。

●法律の策定や、メディアによるさらなる情報提供が必要です。

●2012年3月15日には米国で、細胞診とHPV検査併用を推奨する、子宮頸がん検診の新しい勧告がリリースされました。
日本国内でも併用検診を取り入れる自治体も増えており、成果を上げています。